



廣瀬航輔(農ク会長)さん 全国大会を熱く語る。



先月西関東で行われた農業クラブ全国大会、その雰囲気はいかがでしたか。(廣瀬さん 以下廣瀬)全国の農業高校の精鋭たちが集う大会ですから、いい緊張感があり、それぞれの発表者たちの意識の高さ、独自の価値観とそこから見える未来を感じました。

「そのような中の発表、どのような気持ちで挑みましたか。(廣瀬)正直、南北北海道大会や全道大会の方が緊張しました。全国大会は、やるべきことを、やれるところまでやった、という自負があるので、さほど緊張はしませんでした。」

「最優秀賞受賞の結果発表を聞いた時、どのような気持ちでしたか。(廣瀬)もちろん嬉しかったですけど、やった〜!という気持ちよりも、安心感というか、一年生から三年生まで取り組んできたことが、間違いではなかったんだ、ということのを再認識できたという、ほっとした気持ちというか、うーん、安心感かなあ。」

「最後に未来の後輩たちへのメッセージをお願いします。」

「(廣瀬)農業高校は、普通科の高校とは違って、自分が動いて何かをする学校です。静農は、意見発表でも実績発表でも、自分のやりたい事を見つけてやる事ができる環境があります。そのような自分をバックアップしてくれる人たちがたくさんいる。様々なことを経験し、活躍できる場面を与えてくれ、自分を成長させてくれる。そんな静農に、来たれ、若者!」

12月行事予定

農業科目別プロジェクト発表会

十一月二十一日(金)の1〜二時間目に農業科目別プロジェクトの発表が体育館で行われました。二、三年生が複数プロジェクトの発表をし、一年生は真剣に耳を傾け、時々質問をしていました。発表を見ながら野坂農場長は、これが学びの調整です。」と話していました。



- 三日 後期中間考査
 - 六日 日本農業技術検定
 - 九日 後期生徒総会・農業クラブ総会
 - 十三日 情報処理検定
 - 十九日 ウィンターフェア
 - 二十四日 冬季休業前全校集会
 - 二十五日〜 冬季休業(〜一月十八日)
- 2025年も残すところ一か月ほど。インフルエンザに負けず、体調管理をしながら、一日一日を大切にしたいものです。

静農
ウォッチング!